

2016年版 ITを活用した高齢者向けサービスのニーズ調査

■調査の背景と目的:

2025年には、75歳以上人口は2200万人、65歳以上人口は3600万人に達し、男女ともに65歳以上の単身世帯が増え続けることが予測され、元気な高齢者を対象とした新しいサービスやビジネスモデルの開発が期待されている。

本調査では、1都3県に在住する55歳から69歳の男女を対象にWebアンケートを実施、現状の高齢化への意識、10年後を見据えての、日常生活の様々なシーンにおけるニーズと有望サービスの方向性を探ることを目的とする。自由記述については、テキストマイニング分析を行う。

■調査対象:

1都3県に在住する55-69歳の男女600人

	男性	女性	合計
55-59歳	100	100	200
60-64歳	100	100	200
65-69歳	100	100	200

■調査方法:

Webアンケート

■調査期間:

2016年10月-11月